

【総合的な学習の時間】 第3回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 興味・関心を探る

2. 本時の概要

本時は、中学1年生における「総合的な学習の時間」の第3回授業である。前半では、前回に引き続き「マインドマップ」の作成に取り組み、自身の興味・関心をさらに広げ・深めることで、探究テーマの候補となるキーワードを抽出する。また、副教材の動画教材等を活用し、情報源(図書・新聞・Webサイト)の種類やそれぞれの特性・信憑性について学ぶとともに、図書館活用の意義や蔵書検索方法(カーリルや本校図書室検索サイト)を理解する。

後半では、クラスごとに学校図書室を訪問して分類法や配架状況を確認するとともに、教室にてマインドマップの作成・拡張を継続し、今後の文献調査に向けた準備を整える。

3. 本時の目標

- マインドマップによる思考の拡張とキーワード抽出:マインドマップの作成を継続し、自身の興味・関心を多角的に可視化・整理することで、探究テーマの候補となるキーワードを導き出すことができる。
- 情報源の特性と信憑性の理解:各種情報源(図書・新聞・Webサイト)の特性や信憑性の違いを理解し、特に信憑性の高い「図書」を活用した調べ学習の重要性を認識する。
- 図書館・検索ツールの活用意欲の向上:学校図書室の利用方法やカーリルの使い方を理解し、自分のテーマに関連する書籍を自主的に探索・貸出・活用しようとする。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第3回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 生徒用配布プリント:
 - 探究シート 第3回
- 参考・引用文献:
 - 小泉令三・山田洋平(2011)『子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S② 社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方 小学校編』ミネルヴァ書房
 - 登本洋子・伊藤史織・後藤芳文(2023)『改訂版 学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』玉川大学出版部
 - トニー・ブザン著・近田美季子監訳(2008)『マインドマップ超入門―トニー・ブザン天才養成講

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
4分	① 本時の内容の説明と返却物の整理 スライドに基づき、本時の全体の流れ((1)マインドマップの作成、(2)情報源の種類と信憑性)を確認する。返却された「じぶん観察シート」「第2回探究シート」を確認し、『探究ファイル』に収納する。	生徒が本時の見通しを持って活動に取り組めるよう提示する。返却物は今後も参照するため、確実に探究ファイルに保管させる。
1分	② マインドマップ作成の説明 スライドに基づき、マインドマップ作成の目的・方法(キーワードとキーイメージ、メインブランチ5項目、サブブランチの伸ばし方、書き方のポイント4点)を再確認する。	「じぶん観察シート」の項目がメインブランチに対応していることを再度強調し、発想を自由に広げるよう促す。
30分	③ マインドマップの作成 「じぶん観察シート」や前回の内容を参考に、色鉛筆(5色以上)等を用いてマインドマップの作成・記入を進める。	机間巡視を行い、単語や絵(キーイメージ)を交えながらブランチを自由に広げられるよう個別サポートを行う。
5分	④ 情報の種類と信憑性についての学習 動画(『課題研究メソッドZERO』p.28 QRコード「信頼できる情報とは？」0:42～1:33)を視聴し、情報源(図書、新聞、Webサイト)の特性と信憑性について理解する。 ・図書:編集者のチェックがあり信頼性が高い。発行年月日が重要。「図書館を使った調べる学習コンクール」参加において必須。 ・Webサイト:速報性・手軽さに優れるが、誰でも公開できるため信憑性の判断に十分な注意が必要。	各情報源の長所・短所を意識させる。「調べる学習コンクール」に向けて、図書(学校・公共図書館)の活用が不可欠であることを強調する。
5分	⑤ 図書館利用のすすめについての学習 動画(『課題研究メソッドZERO』p.30 QRコード「情報の集め方<図書館>」)を視聴し、図書館の4つの利点や本を借りる際の3つのポイントを理解する。	図書館を活用することのメリットを捉えさせ、今後の調査活動への意欲を高める。
5分	⑥ 検索ツールの紹介と次回までの課題指示 ・マインドマップから抽出したキーワードをもとに本を探す方法を聞く。	まだキーワードが抽出できていない生徒は図書室で興味のある本を探すよう助言する。カーリルや学校図書室サイトの利便性を伝える。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	・蔵書検索ツール「カーリル」や本校図書室検索サイトの活用方法を知る。 ・次回までに、図書館（本校図書室または公共図書館）から探究テーマに関連する本を1冊以上借りて持参するよう指示を聞く。	る。次回持参課題を確実に周知する。
10分	休み時間（次時限の図書室利用に備え、移動準備・休憩）	
【2時限目】		
50分	⑦ 図書室の利用およびマインドマップの継続作成・回収 ・クラスごとに指定された時間帯（各10分間：A組 9:55～、B組 10:05～...）に『課題研究メソッドZERO』（p.30の分類法参照）を持参して図書室へ移動する。 ・図書室移動の時間帯以外は教室にてマインドマップの作成を継続し、メインブランチやサブブランチをさらに広げる。 ・本時の最後に「マインドマップ」を提出する。	・図書室での滞在時間が短いため、本時は検索方法の確認を中心とし、貸出は放課後等に行うよう指導する。 ・『課題研究メソッドZERO』の分類法（日本十進分類法）を意識して書棚を見るよう促す。 ・マインドマップに終わりはないため、テーマをより深く・多角的に広げるよう声をかける。 ・授業後、提出されたマインドマップを回収する（※カラーでスキャン後、次回返却）。